

松の門（二）艸子、（三）歌人。天保二年（一）二月（二）江戸生れ、大正二年八
月（三）一日歿（四）。本名小川みき。筆名二艸子、小三、小三
女史、小川みき子、松のやみさ子、松の門みき子、松の門二章子、松
乃門（一）二艸子、松乃門（二）二艸子、松通門（三）二艸子、松通門（四）二章子、松門みき
子、松門（一）二斜子、松門（二）二艸子、松門（三）二章子、松門美佐子等。尚家（一）生
れ十七歳（二）夫（三）死別。一家没落後深川の藝者と知り嬌名一世（四）風靡。
和歌を井上又雄（一）に學び、（二）のちに歌誌（三）『とくしよ』の選者となる。漢詩
の長（一）じた、文學藝者の白眉。

著書『松の門（一）二艸子歌集』（大峰筆子繪、大正九年（二）十二月（三）二十五日松
の門（四）二艸子歌集編纂所）等。